

第5回草津市廃棄物減量等推進審議会 議事概要

■日時：

平成27年11月5日（木） 11：00から12：30まで

■場所：

草津市役所4階 入札室

■出席委員：

天野委員〔会長〕、松村(幸子)委員〔副会長〕、金谷委員、橋本委員、小笹委員
吉野委員、多々良委員、沖委員、権田委員、松村(周)委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

福西課長、門田専門員〔ごみ減量推進課〕
青木所長〔クリーンセンター〕、小川専門員〔環境課〕

■傍聴者：

なし

1. 開会

【会長】

みなさん、おはようございます。本日もお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。今年の2月から、この計画の中間見直しの審議会が始まりまして、本日は第5回、いよいよ最終回ということで、いろいろ貴重な御意見をいただけてきたわけですが、本日は、基本計画（改訂版）の最終版という形で、審議を進めさせていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

2. 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画（改訂版）素案の修正箇所について

【事務局】

<資料1 一般廃棄物処理基本計画（改訂版）素案の修正箇所について説明>

【委員】

資料1の11ページ、用語解説の一般廃棄物の説明のところ、一般廃棄物が、ごみとし尿雑排水の総称であることを、枝分かれの図で書いておいたらどうかと思う。廃棄物が産業廃棄物と一般廃棄物に分かれて、一般廃棄物がごみとし尿雑排水に分かれている。それでごみの方が家庭系ごみと事業系ごみに分かれているんだという体系図があった方が、わかりやすい。ごみと一般廃棄物で呼び方を分けていることが一般にわかりにくいと思うので、法律用語ではごみと一般廃棄物を厳密に言うと区別しているということ、用語解説に入れておいたほうが良いと思う。

あと、11ページの家庭系ごみの説明と事業系ごみの説明は、先ほどの修正した箇所の表現と併せておいた方が良いと思う。

【会長】

11ページは「家庭から発生する一般廃棄物」という表現だが、6ページの文言修正では「生活に伴って排出される家庭系ごみ」となっているので、合わせたほうが良い。

あと、11ページの経済センサスが経済センサンスになっているので、これは誤植である。

【事務局】

事務局の方で、これは一般の人にはわかりにくいかなという用語を抽出して書かせていただいた。他にも、これもちょっとわかりにくいのではないかなというような用語があれば、教えていただければありがたい。

【会長】

次の議題の審議の際にお気付きの点が出れば、改めて用語解説や資料編への追記を検討するというので、次の答申案そのものの審議の方に進ませていただきます。

(2) 答申案について

【事務局】

<資料2 答申案について説明>

【委員】

48ページの「3) 中間処理施設の整備」の3行目と4行目は、「決定していくこととなります。」ではなく、「決定しました。」にして、その下の「中間処理施設の整備工程の概要」のところも、今決まっている内容については、書いたらどうかと思う。

【事務局】

そのように修正をさせていただく。

【会長】

少し気になったのが、38ページと39ページの目標値のところ、家庭系ごみも事業系ごみも、それぞれ真ん中あたりに平成20年度実績が確定値で書いてあって、平成33年度の目標値はこれまでの方針どおりで結構だと思うが、平成27年度の目標値は書かなければいけないのか。

というのは、平成27年度の目標値よりも平成26年度の実績の方が少ない値として出ているので、それより大きな値を平成27年度の目標値として書くのも、今改めて見ると、少し気になる。

平成27年度の目標値を中間見直しの答申案に書く必要があるのか、もしあるなら、少なくとも平成25年度や平成26年度で達成している値と同じか、それより少ない値でないか。

【事務局】

この計画が計画書として出来上がるのが、来年の3月の予定になっている。

事務局としては、今回は中間の見直しということで、元々どういう設定をしていたかということがわかるように、平成27年度の間年度と平成33年度の最終年度を掲載しようという思いでいた。いまおっしゃっていただいた内容は、審議会で御議論いただく際に、既に平成26年度の実績であるとか、平成27年度の状況も踏まえて最終年度の目標値について御検討をいただいたということで、そこまで載せておく必要があるのかという御意見かと思うが、答申をいただく時に省かせていただく方がよろしければ、その部分は省かせていただく形も可能。

【会長】

多分これは最初に計画を作ったときに、中間目標と最終目標を書くということでこういう並びになっていたことを踏襲して、今こういう表記になっていると思うが、もう中間見直しを経た上での目標値設定なので、最終目標だけでもいいかなという気はするが。

【事務局】

元々の計画は、計画としては残っているので、消えるということはない。最初の計画を見れば全体が書いてあるということにはなる。

【会長】

当初の計画は、10年ちょっと先を見越した長期計画なので、真ん中あたりで中間目標を作って、そこで見直ししようということで、両方書いてあったが、今回は中間見直しを経た上で、いよいよ平成33年度の最終年度に向けて、改めて最終目標を設定しましたということと言うと、平成27年度の間年度については今回の中間見直しでちゃんと確認したということで、あえて書かなくてもいいかと思うが、いかがか。

【事務局】

この計画自体が下半期の計画ということになるので、おっしゃっていただいた趣旨からすると、そういう形でも可能であると感じた。

【会長】

例えば、1つの方法として、元の計画における平成27年度の間目標がこの値であったというのを下のほうに注釈で入れるとか、そういう扱いでもいいかもしれない。今の状態だと平成27年度の目標値と平成33年度の目標値が並んでいるので、並んでいることが引っかかる。

【委員】

一般の方がこの計画を見られるのは、平成28年度ですよね。実績や見込みとして書くのならともかく、目標はおかしいと思う。無くてもいいのではないかな。

【会長】

では取ってしまいませんか。元の計画を見れば、平成27年度の目標値はちゃんと書いてあって、公開されているということ。

【事務局】

わかりました。それでは、平成27年度のそれぞれの目標値については、削除させていただきます。

【会長】

次の40ページのリサイクル率についてはどうか。これはまだクリアしていないが、並びでいうとこれも消してしまえば。これだけ載っているというのもおかしいので。平成27年度の目標値はすべて取ってしまって、これは中間見直しを経た平成33年度に向けての目標ですということで、その方がすっきりして、読む側からしても混乱しないと思う。

【事務局】

そのように修正させていただきます。

【委員】

21ページのごみ処理フロー図は改めて見ると、いくつか直した方が良いところがある。まず、大阪湾フェニックスに行っている最終処分量に入ってくる点線の矢印のところ、不燃物308tとあるが、20ページでは不燃残渣と言っているの、これを不燃残渣に変えた方が良いのではというのが1点目。

もう1点は、不燃物308tのところから点線の矢印を付けること。今の状態だと、上から来る矢印が不燃物308tのところで行き止まりになっている。実際には、これと焼

却残渣を併せたものがフェニックスに行っているので、ズレていることになる。

だから、不燃物308tの箱の右のところから右側に点線の矢印を付けて、その下の不燃物処理施設から出ている点線の矢印は、不燃物308tの箱につなげる。

【会長】

不燃物処理施設から出ている点線の矢印が不燃物308tの箱を通り過ぎていて、その箱を経由させて、さらに上から来る再生不可のびんを併せたものが不燃物308tとなるように。

【委員】

各処理施設のところから外に出てくる、例えば不燃物処理施設であればその下の「※10t」とか、びん類選別作業であれば「18t処分場ストックヤード」とか、※で書いてある部分がいい加減である。右下のほうに2つ説明が書いてあるが、こうではなくて、それぞれがどこに行っているのかちゃんと書いたほうがいい。

このごみ処理のフローというのはすごく大事な図で、こんな風にやっているからちゃんと分けてくれとかいう基になるもの。例えば、プラスチック圧縮梱包処理施設から出ている112tは、おそらく焼却に行っていると思う。でも、もしこの112tが焼却に行っている部分と、不燃残渣的なものとそうでないものに分かれているのなら、ちゃんと書かなくてはいけない。だから、右下のように、各施設で再処理という風に曖昧に書かないで、わかる範囲で、あるいは、多少の割り切りはあるだろうが、これがいったいどこに行っているのかというところを、ちゃんと書くべき。

このフロー図の方では、どこかに行っている、最終的には焼却施設に行くか、資源化に行くか、最終処分場に行くかどれかしかない。だから、こういう行き止まりのところは、基本的に無くすべきだと思う。そういう風に矢印を付けるか、あるいは、それぞれの注釈を別々にして、こういう風になっているといったことを下に書いた方が良く思う。そうしないと、112tとか結構な量なので、それがどうなっているのかわからないというのは良くないのではないかと思う。

金属処理施設の4tというのは、空き缶などといっしょに入ってくる異物のプラとかそういうもので、たぶん焼却にまわしているんじゃないかなと思う。かなりの部分がほとんど焼却に行っているんじゃないかなという風に思うが。それと、びん類選別作業の処分場ストックヤードというのが、何を意味するのかわからない。

【事務局】

この図はクリーンセンターの年間の処理の流れを説明している図を流用している。ストックヤードの分については、年度を跨いで置いていた分ということになる。

【委員】

そこはやっぱり、それぞれ意味合いが違うと思うので、それぞれに書くべきだと思う。
金属処理施設の4 tはどこに行っているのか。

【事務局】

ほぼ焼却だが、細かいところまで数字を合わせるのは困難なので、一応こういう書き方をさせていただいて、説明は口頭でさせていただいている。きちんと数字を合わせるのは難しい。

【委員】

金属処理施設の4 tの部分からその上のごみ焼却処理施設に矢印を伸ばすのはだめか。

【事務局】

全部ではないので。

【委員】

では、プラスチック圧縮梱包の1 1 2 tはどこに行っているのか。

【事務局】

ほぼ焼却です。

【委員】

それでしたらやっぱり入れるべきだ。

処理フローというのは行方がわからないと困るので、そうすべきではないかと思う。

矢印を書くだけなんじゃないかなという風に思うが。そうするか、1つ1つ注釈を書いて、どうなっているのかというところを書くべきだと思う。

【事務局】

全数が行っているとそこへ矢印を書けるが、大半が行っているということになると、注釈にした方がよい。矢印で引いてもよいが、計算すると細部の数字までは合わないの、どちらかという注釈を詳しくさせていただく方がよい。

【副会長】

その方がよい。

【会長】

これ以上矢印が込み入ると、逆に見づらくなる。今は※印が1つだけで、しかも※印の説明が2つに分かれている。それがわかりにくいので、注釈のところ丁寧な説明を加え

られたら良いのでは。

【委員】

プラスチック圧縮梱包の112tは、なるべく速やかに焼却に入れるべきだと思う。量的に多いので。結構な量で、汚れたプラスチックが焼却に行っているわけですね。

【会長】

破砕ごみ処理施設からは、ちゃんと518t焼却となっている。

【委員】

やろうと思えばできる。それぞれのところで量を測ればいい。今回のフロー図では、あまり変更すると他のところも全部変わってきってしまうと思うので、1つ1つの注釈でいいと思うが、多少の割り切りはあっても消えてしまうことは無いので、それぞれkg単位ぐらいでは出ているはずなので、すべきだと思う。

パブコメの方でも、熱心な人なら意見として出ると思う。

【事務局】

今後のことは、クリーンセンターの方と詰めさせていただいて、考えて行きたいと思う。

この計画については、注釈の方を書かせていただくということで、考えて行きたいと思う。

【会長】

他いかがでしょうか。

それでは、ただいま御指摘いただいたところを修正させていただくということで。

【事務局】

本日、いくつか御指摘いただいたところがあるので、それらについては、正副会長と事務局の方で、今後、調整させていただいて、修正等させていただくということで、委員の皆様にご了承いただければありがたいが、いかがか。

【会長】

細かい文言等や、もしかしたら誤字脱字等も出てくるかも知れないが、次の最終版は正副会長と事務局で確認の上、進めさせていただくということで御了承いただければありがたいが、よろしいか。

【各委員】

はい。

【会長】

ありがとうございます。

【事務局】

修正させていただいた上でパブリックコメントの方に向けさせていただくが、それについては委員の皆様にも通知させていただく。

(3) パブリックコメントの実施について

【事務局】

<資料3 パブリックコメントの実施について説明>

【会長】

パブリックコメントの実施に関して、何か御質問、御意見等ありましたら、よろしくお願ひします。

【各委員】

(意見なし)

【会長】

日程としては資料のとおり、12月下旬から1月下旬にかけて、年を跨いでパブリックコメントを実施して、その状況を委員の皆様にも御確認いただいて上で、それに対する対応を1月下旬から2月にかけて行い、3月に修正内容を公表し、3月下旬には確定版の公表という形で進めさせていただくということによろしいか。

【各委員】

(異議なし)

3. 閉会

【事務局】

本日が予定しておりました5回の審議会の最後の回ということになりますので、一言お礼の御挨拶をさせていただきたいと思ひます。

本来ですと、部長から御挨拶させていただくべきところですが、本日は議会に出席しております関係で、僭越ながら、代わりに私から御挨拶をさせていただきます。

冒頭に、会長からおっしゃっていただきましたように、今年の2月26日に第1回目の審議会を開催させていただきまして、本日までの間、5回開催させていただきまして、委員の皆様におかれましては、慎重な御審議、御意見をいただきましたことに、厚くお礼申しあげます。

今回、諮問させていただきました一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改訂に当たりましては、中間見直しということで、上半期の点検、評価を行っていただき、平成28年度からの下半期に取り組むべき事項等について、答申をいただけるということになりました。

今後は、先ほど御説明させていただきましたとおり、答申内容を踏まえた計画書をパブリックコメントにかけさせていただきます、皆様の御意見を伺いながら、計画書として完成させたいと思っております。

今回の審議会につきましては、本日で終了させていただきますが、委員の皆様の任期につきましては、平成29年2月25日までございますことから、今後、必要が生じましたら、審議会を開催させていただくことがあるかもしれません。その際には、よろしく願いしたいと思います。

改めまして、皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

【会長】

それではこれで、第5回、最後の審議会を終了いたします。

この夏以降、毎月のように、短期集中で細かいところまで御確認いただきまして、本当にありがとうございました。おかげさまで、いい方向に向かった答申になってきているかなと思います。本当にありがとうございました。